技術コンテスト第3回 開催報告

令和6年11月19日（火）から12月4日（水）まで、技術委員会（委員長：富安寛（株）NTTデータグループ常務執行役）主催の技術コンテスト第3回が開催され、令和7年1月15日にJJK会館で評価・表彰式が行われた。本コンテストは、会員企業の若手エンジニアを対象に、楽しく総合的な技術の研鑽ができる場を提供し、学びにつなげることを目的とし、135名（26社29チーム）が参加した。

本コンテストは、「レジリエンスと開発生産性の向上」というテーマに基づき、今年は新たに「AIコーディング」「カオスエンジニアリング」を新評価基準として、クラウド上に事前に準備された技術課題を解決しつつ、GitHub Copilotで効率的な活用方法の模索、コンテスト期間中の障害発生対応等、各チーム約2週間の短期間でソリューションをまとめる内容とした。

各チームの成果物について、9つの技術テーマ（AIコーディング、カオスエンジニアリング、データ分析、アルゴリズム、アプリケーション、DevOps、セキュリティ、ミドルウェア、クラウド）から合計28の課題、1種類のアピールシートで評価した。また、コンテスト評価・表彰式では、2つの部門賞（データ分析 優秀賞、技術課題解決 優秀賞）と総合優秀賞第3位、第2位、第1位を表彰した。また、AIコーディングユースケースプレゼンを実施し、当日投票を行いAIコーディングユースケース特別賞の表彰をした。それぞれ受賞チームは以下の通り。

- ・技術課題解決優秀賞 株式会社 DTS (T18-dts)
- ・データ分析優秀賞 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 様 (T09-ctc)
- ・AIコーディングユースケース特別賞
株式会社インフォメーション・ディベロップメント 様 (T04-idnet)
- ・総合優秀賞 第1位 株式会社 DTS 様 (T18-dts)
第2位 株式会社アイヴィス 様 (T23-ivis)
第3位 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 様 (T09-ctc)

今回の参加チームには、9つの技術テーマに対する獲得スコアをレーダーチャートで示し、また要素ごとに具体的な評価内容をコメントした評価シートを配付した。今後、各チーム内でフィードバックの参考として活用いただきたい。

(溝尾)